

彼女たちが青春を 駆け抜けた景色



Story

学校をあげてボートのクラスマッチを行っている三津東高校。誰もが全力で競技に挑む中、2年生の村上悦子はひとり醒めた表情だ。才能もないのに頑張ったって仕方ない……そう気づいてからの悦子は、勝負をあきらめてばかりいる。

そんなある日、悦子のクラスに高橋梨衣奈という転入生がやってきた。クラスマッチのボートに感動した梨衣奈は、悦子と幼なじみの佐伯姫を巻き込み、廃部状態だったボート部の復活に奔走する。同学年の兵頭妙子と井本真優美が入部し5人になると、名義貸しのつもりだった悦子も渋々、初の大会に出場することに。

試合当日、理想と現実の差に打ちのめされてしまった悦子たち。全員がゴールをあきらめかけた瞬間、悦子がオールを再び握りしめる。

「私、もっと上手になりたい」という悦子の言葉で、5人の気持ちはひとつになる――！

デジタルスタンプラリー開催！

開催期間 2024.10.25(金) ▶ 2025.3.31(月)

詳しくはコチラ！



松山聖地巡り
<https://dandanmatsuyama.com>



〈制作〉松山市 シティプロモーション推進課
089-948-6877
film-location@city.matsuyama.ehime.jp

松山 Matsuyama
聖地巡り Sacred Place Tour

オリジナル MAP

松山を知り、訪れ、感じれば
きっとこの街が好きになる

がんばって いしまっしょい

give it all

がんばっていきまっしょい イラストマップ

give it all

アニメ映画「がんばっていきまっしょい」には、松山の街をモデルにしたスポットがたくさん登場します！その一部をご紹介します。



三津エリア



1 伊予鉄三津駅



悦子たちが花火大会の待ち合わせに使った駅。

2 三津浜商店街 (辻井戸)



東西に伸びるレトロな商店街。悦子と姫の通学時の待ち合わせ場所として辻井戸が描かれている。

3 三津ふ頭



夏の風物詩「松山まつり・三津浜花火大会」の会場。約1万発の打ち上げ花火と、会場には屋台が立ち並ぶ。

4 三津の渡し



松山市営の渡し舟。三津側と港山側との間は約80m。本作の冒頭で悦子と姫が船を待っているのは港山側。呼び鈴を鳴らすか、手を挙げると迎えに来てくれる。

5 ソフトタイム (港山駅前)



三津東高校だけでなく、ライバルの港山高校の生徒たちも練習後に訪れる「ソフトタイム」。喫茶店でありながら三津浜焼き(ご当地のお好み焼き)が人気メニュー。

6 梅津寺海岸・ブエナビスタ



三津東高校の艇庫がある海岸。夕日スポットとしても人気で、悦子たちが寝そべっていたウッドデッキも実在する。



広域マップ

中央エリア



7 城山公園



姫と梨衣奈が歩いた公園。四国最大の広さを誇った松山城跡のほぼ全域が、都市公園として市民の憩いの場となっている。

8 松山市駅



伊予鉄道のターミナル駅。駅には四国最大級のデパート「いよてつ高島屋」が直結し、施設上部には悦子が物思いにふけりながら乗った大観覧車「くるりん」がある。

9 ロープウェー街 (赤煉瓦)



大街道電停から松山城に登るロープウェイの駅舎まで続く青空商店街。落ち着いた雰囲気のある商店街で、梨衣奈がアルバイトをしていた昭和レトロな喫茶店もある。

10 大街道商店街



大街道電停から南に延びるアーケード商店街。松山三越やアエル松山などの大型複合施設もあり、若者にも人気。悦子が学校帰りにショッピングに訪れる。

11 DUKESHOP (大街道内)



地域に根付いたミュージックショップ。地元バンドの自主制作CDなどもとりそろえ、悦子も音楽を聴くために立ち寄る。